

国保だより

公費負担医療と医療保険
みんなの国保で支える老人医療

70歳以上のお年寄りや65歳以上のねたき老人、重度心身障害者などの医療費については、国や県の施策によって現在患者の負担なしで治療できます。

しかし、「患者負担なし」といっても、お医者さんには治療費は全額支払われています。

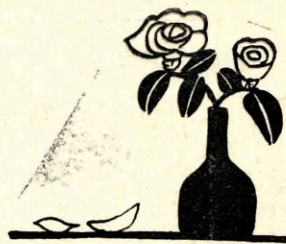
これは、国民健康保険や健康保険が治療費の7割を支払い、そのうえ高額療養費支払い制度があるところから、残りの3割の自己負担分に相当する額は1か月最高3万9千円に限定されており、この範囲内で自己負担分を患者にかわって公費で負担することになっています。

いつばう、国保や健保がお医者さんに支払っている治療費の7割の内、一定割合の

額は保険料として被保険者から徴収することとなっています。

したがって、お医者さんでの窓口払いの必要がないといつて、むやみにお医者さんをわたり歩いたり、必要以上の検査や注射や薬などを、お医者さんにねだることはかえって健康をそこなうだけでなく、無駄な治療費もかさみ、これが被保険者の保険料にはねかえってくることになります。

お互いに以上のことをよく理解し健全な医療の相互扶助制度の維持、健康の保持増進、家計費負担の軽減等のため、平素から健康管理には十分に留意し、治療についてもお医者さんの注意をよく守り、適切な受診、受療に心がけましょう。



「目で見える県政教室」

参加者の募集・・・

県では広聴活動の一環として、本年度も次のとおり施設広聴「目で見える県政教室」を開きますので、ご希望の方は申し込みください。

▶実施月日 9月11日(木)

▶集合場所及び出発時間

○長門市役所前に午前7時25分までに

▶案内する施設

○山口宇部空港 (宇部市)

○このみ園 (宇部市)

○小野田市勤労青少年ホーム

(小野田市)

▶募集人員 50人

▶案内方法 貸切バスで案内します。

▶参加費用 昼食代として500円を当日いただきます。

▶参加資格 長門市・三隅町・日置町・油谷町・豊北町に居住する20歳以上の方を対象とします。

なお、参加募集人員を超過したときは抽せんとなります。

▶申し込み方法

○ハガキに住所、氏名、年齢、職業を書いて(〒753) 山口市滝町1-1 山口県庁広報課(☎山口24-0656) 「目で見える県政教室」係あて申し込みください。

▶締め切り 8月28日(当日必着のこと)

▶参加者の決定は、県から本人にお知らせします。

◎ 終了後は、バスで長門市役所前まで、お送りいたします。

☎ 詳しくは、市企画課広報統計係へおたずねください。

☎ 2-2111 内線212

こころには
保健婦です

心臓病と日常生活

(5)

心臓の病気にはいろいろありますが、病気のなりたちから次の三つに分けられます

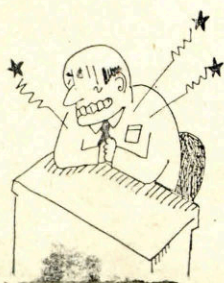
- ①慢性リウマチ性心疾患
- ②虚血性心疾患
- ③その他の心疾患

慢性リウマチ性心疾患はリウマチ熱の後遺症で、後天的な弁膜症の大部分を占めています。また、その他の疾患は細菌性心内膜炎、急性心筋炎などです。このほかに先天奇形としての心臓病などがあります。

「虚血」というのは人体の一部に対する血液の流れが、著しく少なくなったり止つたりした状態をいいます。この状態が続くとその動脈によって栄養供給を受けている組織がこわれてしまいます。

【狭心症】

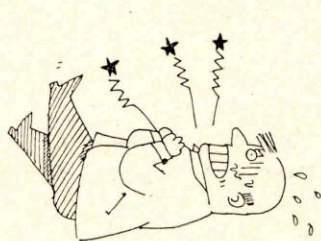
狭心症とは心臓をとりまいている冠状動脈(心臓を養っている血管)に一時的に虚血がおこるものをいう。



●発作的に胸をしめつけられるような強い痛み。

【心筋梗塞】

心筋梗塞とは冠状動脈の虚血によつて組織が破壊されることで、狭心症も心筋梗塞も、心臓のまわりの冠状動脈の動脈硬化が最大の原因です。



●狭心症より症状が強く、血管が下がり、シヨツク症状を起す。

昭和54年の本市の心臓病による死亡は、がんにつぐ第2位で全死亡の20%を占め三大死因の1つとなつております。

◆心臓発作をおこしたら!

心臓にしめつけられるような激しい痛みが起つたら、安静にし一番楽な姿勢をとりましょう。(ベルトやネクタイをゆるめる) また、寒ければ毛布などをかけるのもよいが、暖かくしすぎて汗が出るのはよくありません。

◆心臓病の予防にはまづ!

- ①太らないこと
- ②血圧をあげないこと
- ③動脈硬化をすすませないこと
- 定期検診を必ず受けること

道路に物品を置かな

いようにしましょう

市建設課